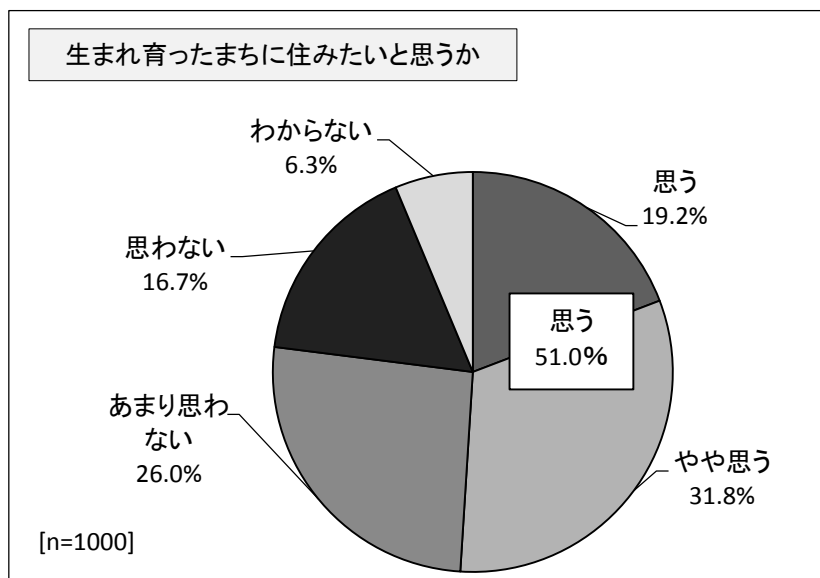


(2) 生まれ育ったまちへの居留意向

「生まれ育ったまちに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う（思う＋やや思う）」が51.0%、「思わない（あまり思わない＋思わない）」が42.7%となった。

図表 14



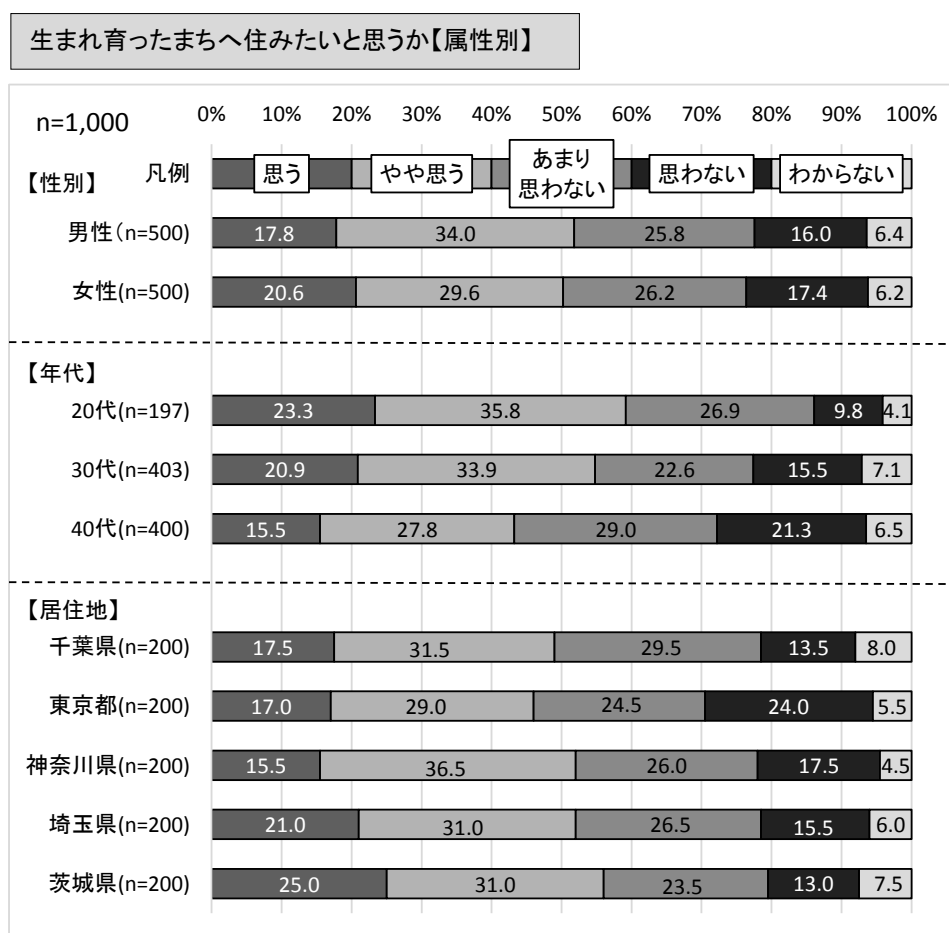
《属性別》

性別でみると、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、男性（51.8%）が女性（50.2%）よりもやや高くなった。

年代別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、20代（59.1%）が最も高く、30代（54.8%）、40代（43.3%）と年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられた。

居住地別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、すべての都県で半数前後となった。なかでも、茨城県では「思う」（25.0%）の比率が他都県と比べて、東京都では「思わない」（24.0%）の比率が他県と比べて高くなった。

図表 15



《我孫子市への居住意向別》

我孫子市への居住意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、生まれ育ったまちへ住みたいと「思う（思う+やや思う）」と回答した比率が高くなっている。

図表 16

